

**私立大学情報教育協会  
平成27年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告**

**E-1班 D-pocket**

**学生カルテによる  
学内資源の有効活用**

## 大学の役割

### 1. 研究・学問の追及(+地域貢献)

- ・研究活動に専念できる環境づくり
- ・教員の研究支援

### 2. 人材育成

- ・個の育成、グローバル人材
- ・学生の学習意欲、能力の育成
- ・独立した人間を育てる、建学の精神を引き継いでいく

## 大学の現状

**理想とする役割を果たしきれていないのが現状**

その理由として、

1. 大学全入時代により、  
勉学に対する目的意識の低い学生の割合が増加。
2. 学生に提供している学内資源が豊富すぎるため、  
学生が十分に活用できていない。

## 必要な取り組みとは…

- 1.教職員の参画型人材育成
- 2.学生が個性を発揮できる場の提供
- 3.学内資源の有効活用

5

## 学内資源

- ・各種講座
- ・キャリアセンター
- ・教員のネットワーク
- ・蓄積されたデータ(研究資料)
- ・図書館のデータベース
- ・教員などの人材
- ・オフィスアワー



学生カルテによる学内資源の有効活用

6

## 学生カルテとは

従来の学生管理データの  
成績や履修情報を単に確認できるだけの機能に  
教職員および学生本人が情報を入力し  
学生の興味関心に合わせた関連情報を  
ICTを利用し連動させ、選択肢として提示する

7

## 期待する効果



8

## 活用にむけて

1. 大学からの情報享受により、学生から自ら学修する意欲を奪ってしまうのではないか  
→ 選択肢をいくつか用意することにより自主的に関心のある情報を選択することが可能となる。
2. システム導入前後の教職員へのフォロー体制  
→ 説明会の実施。
3. 膨大なデータの集約方法  
→ 各部署間での連携、他大学のノウハウの活用。

9

## 結論

単に学生情報の管理をするだけでなく  
学生個別の悩みや不安、関心に対する処方箋  
として状況に応じた助言をする。



教職員から学生にコミュニケーションツールとしても  
データベース化された情報を共有し活用する。



個の育成につながる。

10